

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果について

丹波市立久下小学校



【概要】

実施日：令和3年5月27日（木曜日）

実施内容：国語（45分）・算数（45分）・児童質問紙

出題内容：（1）国語、算数はそれぞれ次のアとイを一体的に出題

ア 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

イ 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等



（2）児童質問紙

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

【分析と今後の改善点】

○：成果 ▼：課題 《本校児童の全体的な分析結果》

⇒：今後の改善点 《主に日常の授業において、学校として改善する事項》

国語

○ 思考に関する語句の使い方を理解し話や文章の中で使うことや、資料を用いた目的を理解すること、文中における主語と述語との関係をとらえること、漢字を文の中で正しく使うことが概ねできている。また、記述式の解答について、無解答がない。

▼ 目的を意識して中心となる語や文を見つけて要約することや、目的に応じて文章と図表と結びつけて必要な情報を見つけること、文中における修飾と被修飾との関係を捉えることに課題がある。また、文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することに課題がある。

⇒ 文の係り受けの理解、特に修飾語と被修飾語の関係（4、5年）を説明文の読み取りなどでも取り上げていく。また、文章全体の構成、段落間の関係などを構造的に理解できるよう工夫したり、内容面の条件、段落の条件、字数の条件などを組み合わせた複数の条件に合った文章を書いたりすることを通して、読む力や書く力をつけていく。

算 数

○ 棒グラフから数量や項目間の関係を読み取ることや、速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察すること、三角形の面積の求め方について理解することが概ねできている。また、複数の図形を組み合わせた図形の面積について量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べることが概ねできている。

▼ 商が1より小さくなる等分除（整数）÷（整数）の場面で、場面から数量の関係を捉えて、除法の式に表し計算することや、小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数になる理由を記述することに課題がある。また、速さと道のりを基に時間を求める式に表すことや、データを2次元の表に表すことにも課題がある。

⇒ 家庭学習やスキルタイムで反復練習をし、正確な計算力を身に付けるとともに、小数や分数の考え方を再度確認したり、割合の考え方を図と計算の意味を関連付けて理解したりできるようにする。活用問題、発展問題の問題も家庭学習やスキルタイムで取り入れていく。

児童質問紙

○ 自分にはよいところがある、人の役に立つ人間になりたい、友だちと協力するのは楽しいなど自己有用感や規範意識が高い。また、国語・算数とも学習に対して関心が高く、将来社会に出た時にも役立つと考えている。

▼ 毎日、同じぐらいの時刻に寝ることができていない児童がやや多い。また、学校の授業時間以外に、普段1日当たりの読書時間が10分より少ない児童が多い。

⇒ ゲームやスマホなどのルールを守り、規則正しい生活を送れるよう児童や家庭への啓発をおこなう。また、学校図書館や学級文庫などで児童が本を読みやすいよう環境を整え、読書習慣をつけていく。

